

大野岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年1月30日発行 文責 校長 中尾 聡彦

能登半島地震（3学期始業式講話）

1月1日の夕方にテレビの速報で「能登半島地震」の報道を目にしました。お正月のおめでたい気分は一気に消え失せ、被害が大きくなることだけを祈るような思いでテレビを見ていました。東日本大震災を思い出された方も多かったのではないのでしょうか。

1月9日の始業式では、次のような話をしました。

普通であれば「みなさん、明けましておめでとうございます。」とあいさつをして、笑顔でスタートすべきところですが、今年の元旦には「能登半島地震」が発生しましたので「おめでとうございます」という言葉は控えたいと思います。

今回の「能登半島地震」の一番被害の大きかった石川県はどのような状況にあるのでしょうか。今朝の報道では亡くなった方が168人(1/9 現在)ということでした。

今日は、まず、能登半島地震で亡くなった方々に哀悼の意を表すために黙とうを捧げたいと思います。前期課程のみなさんはよく分からないと思いますので、教室の先生方に教えてもらいながらお願いします。

では、みなさん、静かに立ってください。「黙とう」と言いますので、軽く頭を下げて、しばらくの間、静かに目を閉じます。準備はいいですか？

「黙とう」

私は、みなさんと同じ年代の子どもたちのことを考えていました。

雪が降る中、ビニールハウスの中で生活をしている方もいらっしゃるようです。

避難所では、水がなく我慢の生活を続けている方もたくさんいらっしゃいます。

学校は避難所となり、始業式を延期する学校が全体の20%もあるということです。

中には、家を失い、教科書もなく、受験を前にどうしたらいいのか分からない子もいるのかもしれない。

みなさん、自分と同じ年代の子の気持ちを考えてみてください。

被害に遭った方々のために、「今、私たちにできること」はないのでしょうか？

全国高校サッカー選手権や春の高校バレーでは、当然のことながら、被害を受けた石川県代表チームの応援がとても少なかったということです。しかし、その様子を見て、相手校の応援団が石川県代表チームにエールを送るという「友情応援」が見られたということです。

今日の伊万里っ子しぐさのカレンダーを見てください！「何かない？誰かのためにできること」「今、被害に遭った方々のために、私たちができること」を見童生徒会として考えてほしいと思います。

この翌日から見童生徒会では支援策を考えてくれました。7年生は新聞の切り抜きを集め、玄関に掲示してくれました。

私たち大人も「私たちにできること」を考えたいと思います。

大谷翔平選手からのグローブが届きました

昨年末から全国で話題になっていた、MLB（米国・大リーグ）大谷翔平選手からのグローブが届きました。今、世界で一番注目されているスーパースターからの待ちに待った贈り物を、子どもたちは大事に手に取ってその感触を楽しんでいました。（グローブは右利き用2点、左利き用1点）

1月23日に届きましたので、25日の朝の時間の予定を変更し、臨時全校朝会（前期課程）でお披露目をしました。できれば体育館でと思いましたが、インフルエンザの流行と寒さ対策からリモートで行いました。

まず、大谷選手の人物像を画像で確認し、未開封の箱を机に置きました。

そして、6年生4名が、まるで宝箱から宝物を取り出すかのように、緊張しながらグローブを取り出しました。

3つのグローブは、各教室を回し、すべての子どもが手にしました。

記念に撮った写真などは、後日、大谷選手に送ろうと考えています。

後期課程の生徒については、実力テストのスケジュールを変更できなかったために、前期課程のみの朝会となりましたが、翌日には、後期課程の生徒も目を輝かせながらグローブを手にして、大谷選手の思いを感じ取っていました。

このグローブの活用ですが、「盗難にあうといけないので、大事に金庫に入れとかんば！」という意見もありましたが、大谷選手の思いを汲んで、昼休みや体育の時間にどんどん使ってもらいたいと思っています。

「野球しようぜ！」という言葉が、夢を抱き、一步一步前進しようとしている子どもたちの背中を押してくれたのは間違いありません。

なお、保護者や町民の方々の関心も高いことから、メールやホームページ、農協放送でご案内したように2月2日まで玄関に展示しています。ぜひ、手にとってみてください。

また、玄海町こども応援し隊、市役所野球部、市役所野球部OB様よりボールも寄贈いただきました。

